

平成22年5月25日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520116

研究課題名（和文） 近世初期読本における説話的背景と思想的基盤の研究

研究課題名（英文） A study of a story and a thought on KINSEI-SYOKI-YOMIHON

研究代表者

湯浅 佳子 (YUASA YOSHIKO)

東京学芸大学・教育学部・准教授

研究者番号：00282781

研究成果の概要（和文）：

山東京伝や曲亭馬琴の文化5年刊頃までの初期読本作品の内容分析を、思想・説話的な側面から行った。また、それら初期読本の作品世界の成立背景を、仏教長編小説、怪異物語、啓蒙書、雑史等の読本以前の文芸分野に求め、同じく思想的・説話的な面から内容的特徴を考察した。初期読本に記される歴史観や歴史上の人物像は、『鎌倉北条九代記』をはじめとする近世前期より刊行された雑史にすでに見られる。また、近世初期に刊行された『太平記評判秘伝理尽鈔』等の軍書における歴史思想・人物評論が、以降の雑史や物語類に大きな影響を及ぼしていることが推測される。初期読本をはじめとする近世中・後期の物語・小説の歴史的世界観や説話的内容および思想は、近世初期に成立・刊行された雑史・物語・軍書類にその遡源を求めることができる。

研究成果の概要（英文）：

This study is Yomihon to in A.D.1808 on a thought and a story. And a study of the novel and the enlightening book and a ghost story before the Yomihon. The content of a thought and a story of Yomihon is identical to the ghost story and novel and the enlightening book and a Buddhist book. "Kamakura-Houzyou -Kudaiki" and "Taiheiki-Hyouban-Hiden-Rijinsyo" are influence of Yomihon.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,400,000	0	1,400,000
2007年度	700,000	210,000	910,000
2008年度	700,000	210,000	910,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
年度			
総計	3,500,000	630,000	4,130,000

研究分野：日本文学

科研費の分科・細目：近世文学・近世小説論

キーワード：日本文学 説話 伝承 思想 宗教 読本 仮名草子

## 1. 研究開始当初の背景

日本の近世中期、寛延から寛政年間（1748～1800）に刊行された初期読本と呼ばれるジャンルがある。山東京伝や上田秋成に代表されるそれらの作品には、民間伝承や怪談集等に取材した説話的世界を取り入れたものや、南北朝や鎌倉時代の歴史的事件に題材を求めたもの、また「孝」「忠義」や家制度といった思想的な問題を主題とするものが多い。そうした読本における説話・思想的な事柄は、曲亭馬琴など後期読本作品にも継承されており、読本を解釈するにあたり重要な問題である。

そこで本研究では、初期読本の成立基盤として、読本以前に成立・刊行された物語・説話・雑史・啓蒙書等の作品に注目し、読本前代の作品における説話・思想的言説の特色を明らかにしたうえで、それらが読本へどのように影響を及ぼしているかを考察しようとした。

## 2. 研究の目的

日本の近世中期、寛延から寛政年間（1748～1800）に刊行された初期読本の作品世界の成立基盤について、一つには思想の享受としての面から、二つめには説話の享受としての面から分析した。読本の成立背景を近世初期の物語説話作品から遡り、それらの読本以前の作品における思想的言説や説話の展開の諸相を分析し、読本作品への影響を考察した。また、読本以前に成立・刊行された近世期の物語草紙・歴史・啓蒙書の類についての書誌的調査を行い、データベース化し、読本成立までの文芸作品の時代的変遷を把握した。

## 3. 研究の方法

(1) 山東京伝や曲亭馬琴の文化5年刊頃までの初期読本作品の内容分析を、思想・説話的な側面から分析考察する。

(2) (1)の作品世界の成立の背景について、読本以前の諸作品に注目し、それらの内容的特徴を明らかにする。仏教長編小説、軍書、談義本、啓蒙書、雑史、儒学、浮世草子、仮名草子のジャンルを対象とし、①思想的、②説話的な見地からそれらの作品の内容分析を行い、後世への影響を明らかにする。

(3) 近世初期から中期までの物語・説話・教訓・啓蒙書・史書・雑史（仮名草子・浮世草子・談義本・仏教長編小説・軍書・草双紙・初期読本）について諸本調査を行い、書誌的事項をデータベース化し、それらの作品にお

ける思想的・説話的内容・様式の変遷を年表として見、分析考察する。

## 4. 研究成果

### (1) 初期読本・読本の作品研究

① 『南総里見八犬伝』名場面集』（三弥井書店）では、東京大学総合図書館蔵本『南総里見八犬伝』を底本に、重要場面について翻刻と現代語訳を行った。また解説では、『南総里見八犬伝』の概説および犬江親兵衛や伏姫の描写等に示される「仁」の問題について、近世思想書・啓蒙書や仮名草子作品の言説を用例にあげつつ考察を行った。

② 『読本事典—江戸の伝奇小説—』（笠間書院）では、『新累解脱物語』『旬殿実実記』（十巻十冊、文化五年刊）等の曲亭馬琴の作品をとりあげ、文学史的な位置づけと内容的特徴について論究した。

③ 『草双紙事典』（東京堂出版）では、読本前史としての青本・黒本・黄表紙・合巻の草双紙作品『にしき木』『聖徳太子』『善光寺』『薄雪音羽滝』『水車智恵篁』等の作品をとりあげ、文学史的な位置づけと内容的特徴について論究した。

④ 『旬伝実実記』と『南総里見八犬伝』（『近世部会誌』第1号）では、曲亭馬琴作の中編読本『旬伝実実記』（十巻十冊、文化五年刊）に描かれる、お筈と阿旬の悪女善女の人物描写が、『南総里見八犬伝』の浜路や伏姫のモデルとなっていることを指摘した。『旬殿実実記』で、お筈が殿兵衛の部屋を訪れて拒まれる場面は、『南総里見八犬伝』の浜路が犬塚信乃の部屋を訪れ拒まれる場面に取り入れられ、お筈の悪は浜路の善に変化していること、また『旬殿実実記』で善女の阿旬が山奥で猿夫婦に養育されていたのを山に入った早苗進に見つけられ猿夫婦が射殺される場面は、『南総里見八犬伝』の、伏姫が山奥で八房と暮らしているところを山奥へ入った金碗大輔に八房を射殺される場面に取り入れられていることを明らかにした。

### (2) 読本前史の研究

① 「『鎌倉北条九代記』の歴史記述の方法—『日本王代一覧』『太平記評判秘伝理尽鈔』等との関わり—」（『文学』五・六月号）では、山東京伝をはじめとする

読本作者の歴史・思想に影響を及ぼしたと思われる、近世軍書の嚆矢『鎌倉北条九代記』（延宝三年板、十二卷十二冊、浅井了意著）を取り上げ、当書が『吾妻鏡』『日本王代一覽』『太平記』『太平記秘伝評判理尽鈔』を典拠とし、それらの歴史観や思想を取り入れて歴史記述を行っていること、殊に『太平記評判秘伝理尽鈔』の歴史観と人物評価から大きな影響を受けていること、寛文・延宝期の軍書に『太平記』よみ、『太平記評判秘伝理尽鈔』からの影響が濃厚であることを明らかにした。

② 『鎌倉北条九代記』の背景—『吾妻鏡』『将軍記』等先行作品との関わり—（『東京学芸大学紀要』第六十一集）では、『鎌倉北条九代記』が、『日本王代一覽』『吾妻鏡』『承久記』『太平記』『太平記評判秘伝理尽鈔』『本朝将軍記』『元享釈書』を典拠としていること、『平家物語』『保暦間記』『日蓮聖人註画讃』『中朝歴代帝王譜』『五代帝王物語』『八幡愚童訓』『増鏡』『一遍上人縁起』『黒谷法然上人一代記』に類話があることを明らかにした。

③ 『曾呂里物語』の類話（『東京学芸大学紀要』第六十集）では、近世怪異説話の嚆矢とされる『曾呂里物語』（五卷五冊、寛文三年刊）諸話の類話と典拠について、『宿直草』『諸国物語』の典拠となっていること、また『太平百物語』『三国伝記』『直談因縁集』『今昔物語集』平仮名本『因果物語』『新伽婢子』『武将感状記』『諸家深秘録』『因幡怪談集』『奇異雑談集』『善悪因縁集』『柴下雑談』『御化西院河原口号伝』『本朝故事因縁集』『緋白往生伝』『一休諸国物語』『怪談記野狐名玉』『伽婢子』『御伽厚化粧』『古今犬著聞集』『北野天神絵巻』『堪忍記』『金玉ねちぶくさ』『諸仏感応見好書』等の作品の諸話と類似していることを指摘した。また、『日本昔話大成』の昔話とも共通話があり、『曾呂里物語』が口承伝承話をも取り入れていることを指摘した。

④ 「怪異説話の展開—『曾呂里物語』と『御伽物語』—」（『日語教育与日本学研究論集』第三号）では、読本の説話的内容に影響を及ぼしたと思われる怪異物語『宿直草』（延宝六年板、五卷五冊、別称『御伽物語』）の巻五の七と、『曾呂里物語』巻五の五等との内容比較を行い、『宿直草』の文芸性について指摘した。

⑤ 『宿直草』の創意—巻四の十六「智ありても畜生はあさましき事について—」（『日本文学』五十七巻六号）では、『宿直草』巻四の十六「智ありても畜生はあさましき事」の典拠・類話として狂言「こんくわい」、『無門関』第二「百丈野狐」、『三国伝記』巻二第十七「智覚禅師事」をあげ、内容比較を行った。それにより、『宿直草』の咄が、畏と知りつつも餌を目前に迷う狐の姿と、狐の告白と歎きがより濃密に描かれていること、優れた「智」を持ちながら畜生の身に堕したことで、我が身の「畜生のあさましき性」を意識せざるを得ない狐の苦悩が描かれており、その点に仏教説話とは異なる物語の性格を見ることができると指摘した。

⑥ 『曾呂里物語』異板二種について—『目覚物語』と大妻本『曾呂里物語』—（『東京学芸大学紀要』第五十九集）では、大妻本『曾呂里物語』（五卷五冊、寛文三年板）と宮城県立図書館伊達文庫本『曾呂里物語』（五卷五冊、無刊記板）および国会図書館本『曾呂里物語』（五卷五冊、無刊記板、江戸板）の本文比較を行い、大妻本→伊達文庫本→国会本の順番に板が改められていったことを指摘した。

⑦ 『曾呂里物語』二話—その怪異性について—（『近世部会誌』第二号）では、『曾呂里物語』巻二の七「天狗のはなつまみの事」と巻四の六「悪縁にあふも善心のすゝめとなる事」の二話について、『諸国百物語』『宿直草』の同話との内容比較を行い、『曾呂里物語』の怪異性について考察し、『曾呂里物語』には、怪異の衝撃性が薄く、また道理や因果も強調せず、話の所在も明らかにしない性格があることから、「咄」としての普遍的性格を備えていることを指摘した。

⑧ 『仮名草子集成』第四十五卷（東京堂出版）では、『曾呂里物語』の底本を大妻大学図書館蔵本としてその翻刻と解説を行った。解説では、大妻本、宮城県立図書館伊達文庫本、国会図書館本、九州大学附属図書館本（写本）の書誌を述べ、寛文三年板の大妻本が『曾呂里物語』諸板の中でも早い板であること、無刊記板の伊達文庫本は寛文三年板をもとに新たに刻された板で、本文の文字を詰めて丁数を少なくし、挿絵を増補し、寛文三年板には無かった序文題と巻一内題を補って体裁を整えた板であること、国会本は江戸板であり、本文は基本的に無刊

記板に拠り、語句や文書を省略し、振り仮名・濁点を無くし、文字数と行数を詰め、挿絵を増補させた異板であること、九大本の写本は松会板の写しの可能性があること、本文は板本と同様の文脈でありながら文章表現が大きく異なっていることを明らかにした。

- ⑨ 『浅井了意全集』仮名草子編第一巻では、『孝行物語』（六巻六冊、万治三年板）の筑波大学附属図書館本を底本とし、翻刻を行った。解説では、筑波大本の書誌と、その内容的特徴、および改題本『親子物語』『勸孝記』との関係について、先行研究をふまえながら述べた。

(3) 初期読本作品に影響を及ぼしたと思われる近世前期・中期の歴史書・雑史・儒学書・仏書・神道関係書・教訓書・説話・文芸・草子類について、各図書館・文庫所蔵本の書誌・内容調査を行い、データベースを作成した。調査は、天理大学附属天理図書館、東北大学附属図書館、長崎県立図書館、国立国会図書館、内閣文庫、国立東京博物館、大阪府中之島図書館、京都府総合資料館、大谷大学図書館、龍谷大学図書館、西尾市岩瀬文庫で行った。データベースには、今年度までにおよそ 1000 点の作品のデータを入力した。データベースの作成は、今後も継続的に行っていく。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 8 件)

- ① 湯浅佳子、『鎌倉北条九代記』の歴史記述の方法—『日本王代一覧』『太平記評判秘伝理尽鈔』等との関わり—、文学、査読無、5.6月号、2010、印刷中
- ② 湯浅佳子、『鎌倉北条九代記』の背景—『吾妻鏡』『将軍記』等先行作品との関わり—、東京学芸大学紀要、査読無、第 61 号、2010、167-197
- ③ 湯浅佳子、『曾呂里物語』の類話、東京学芸大学紀要、査読無、第 60 号、2009、307-330、
- ④ 湯浅佳子、怪異説話の展開—『曾呂里物語』と『御伽物語』—、日語教育与日本学研究論集、査読無、第 3 号、2008、189-2028
- ⑤ 湯浅佳子、『曾呂里物語』異板二種について—『目覚物語』と大妻本『曾呂里物語』—、東京学芸大学紀要、査読無、2008、第 59 号、171-205

〔学会発表〕(計 1 件)

- ① 湯浅佳子、近世初期怪異譚の展開—『宿直草』を中心に—、近世後期小説の様式的把握のための基礎研究第 8 回共同研究会、2007. 12. 23、国文学研究資料館

〔図書〕(計 6 件)

- ① 湯浅佳子、花田富二夫、大久保順子、柳沢昌紀、東京堂出版、仮名草子集成第 45 巻、2009、65 頁～126 頁、273 頁～288 頁
- ② 湯浅佳子、大高洋司ほか 7 名、笠間書院、読本事典—江戸の伝奇小説—、2008、54 頁～59 頁、61 頁～64 頁、74 頁～77 頁
- ③ 湯浅佳子、小川武彦、深沢秋男、岩田書院、浅井了意全集仮名草子編 1、2007、101 頁～317 頁、488 頁～491 頁
- ④ 湯浅佳子、三弥井書店、南総里見八犬伝名場面集、2007、1 頁～256 頁

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

湯浅 佳子 (YUASA YOSHIKO)  
東京学芸大学・教育学部・准教授  
研究者番号：00282781

##### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

##### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：